

避難を判断するタイミング



風水害時、市が発令する避難指示などの避難情報と気象庁などが発表する防災気象情報は、5段階の警戒レベルで発表されます。危険な場所にいる人は「警戒レベル3高齢者等避難」、もしくは「警戒レベル4避難指示」で避難を開始し、「警戒レベル4避難指示」のうちに完了しましょう。

1 風水害時に避難を開始するタイミング

警戒レベル	市町村長が発令	気象庁が発表
1	—	早期注意情報 (警報級の可能性)
2	—	氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報
3	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
4	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮特別警報 高潮警報
5	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報

警戒レベル3 高齢者等避難

高齢者や障害のある人など避難に時間がかかる人、避難に支援が必要な避難行動要支援者、避難に時間がかかる人と一緒に避難する人は、避難を開始して下さい。それ以外の人も状況に応じて避難準備や自主避難をして下さい。

警戒レベル4 避難指示

危険な場所にいるすべての人が避難します。避難はできるだけ複数で行うのが安全です。家族全員で安全なうちに避難しましょう。

警戒レベル5 緊急安全確保

急激な天候変化等による災害で避難できない場合は、その場またはすぐ近くのより安全な場所で身の安全を確保しましょう。

自宅周辺の状況を確認して、個人ごとで避難のタイミングを判断します。
キキクル(危険度分布)なども参考にしましょう

土砂災害キキクル



土砂災害の危険度

高	極めて危険
↑	非常に危険【警戒レベル4相当】
危険度	警戒【警戒レベル3相当】
↓	注意【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意

2 地震時に避難を開始するタイミング

大きな地震の発生直後は、机の下などに入り身の安全を確保します。揺れがおさまったらスリッパを履いて足を守りながら、火元の確認、家族の安否確認、出口の確保を行い、一度屋外に退避します。

津波浸水想定区域内は、強い揺れや長い揺れを感じたら避難します。

自宅の被害状況を確認して、傾くなど危険であれば避難します。

※避難するときは、ガスの元栓を締め、電気ブレーカーを切り、避難します。

ため池等が決壊するおそれがあるときは避難します。

3 正しい情報の収集

避難をするためにテレビやラジオ、防災行政無線、緊急速報メールなどで正しい情報を集めましょう。

